



国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力発信 人と人を繋ぐ架け橋として



吉成市民センター
ホームページ

【事業の概要】

吉成地域にある地域資源について調査し、魅力を伝える市民参画型の講座です。1年目には自主ボランティア団体「くよみ郷土研究会」が立ち上がり、精力的に活動しています。

【吉成地域変遷からの思い】

吉成地域は80年代から宅地造成化が進み、90年代に入ると商業化が一気に加速しました。以前からこの地域に住んでいる方たちはどんな思いでこの変遷を見守ってきたのでしょうか？

当時の面影を残す貴重な資源を知り、見守り、そして広めていきたい……そんなコンセプトで事業を継続しています。また、複数年で取り組むメリットを活かし、年度毎にテーマを決めて取り組んでいます。今年度は「臨済院地内弁財天堂」・「青陵の森」にテーマを絞って活動を展開してきました。その結果、仙台青陵中等教育学校の文化祭で、事業の成果をパネル展示したり、同校PTA保護者と情報交換を行ったり、学校や地域、人と人との繋がりも徐々に広がってきました。

【事業の成果を街に還元】

令和元年12月、2年間の学習成果を発表する場として、自分達の街の魅力を周知する場として「地域学習フォーラム」を開催しました。同フォーラムでは活発な意見が交わされて、地域の方々にも事業の内容を理解してもらった良い機会となりました。今後も※くよみ通信の発行や報告会を開催し地域ぐるみでまちの活性化を図っていきます。
※くよみ通信……くよみ郷土研究会が月に1回発行している広報誌（現在15号まで発行）

【人と人を繋ぐ架け橋として】

本事業は、知れば知るほど自分達のまちの魅力に魅了され、更なる学習意欲につながっていく良い連鎖が生まれています。事業を継続して実施していくには地域住民の理解が欠かせません。今後もと人と人を繋ぐ架け橋の役割を果たしながら、じっくりと取り組んでいきたいと考えています。

吉成市民センター
☎ 279-2033



▲地域学習フォーラムの様子。18名の参加

▼くよみ通信は毎月発行。ホームページでもご覧頂けます

